

外国人

お互いの文化を認め合い スクラムを組む。

2019年に開催されるラグビーのワールドカップを間近に控え、北九州市でも外国人と接する機会がますます増えていくことが見込まれます。これは、同時に、多様な文化に触れる機会が増えるということでもあります。異なる文化を知り、多様性を認め合い共感し合う「多文化共生」のまちづくりに向けて、お互いの理解を深めていきましょう。

Let's TRY!
レッツトライ!



ラグビーの各国代表チームの中には、多国籍の選手で構成される例も多く、異なる文化を持つ選手たちが集まって、1つのチームの仲間としてスクラムを組んでいます。私たちもお互いの文化を認め合う心を育て、共生できる社会を築きましょう。



女性の人権

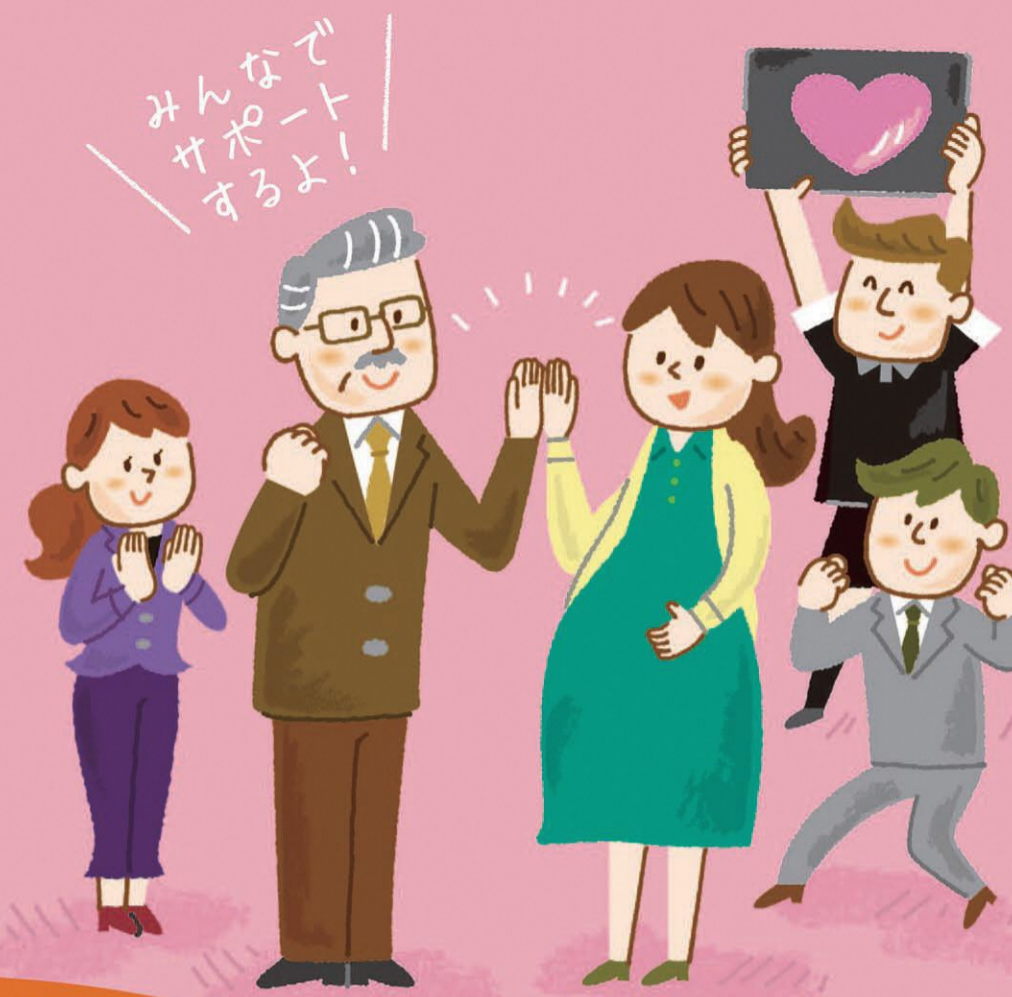
職場や家族の チームワーク で支え合う。

妊娠・出産などを理由とする解雇、雇止め、職場内での嫌がらせなど、いわゆる「マタニティ・ハラシメント」が社会問題になっています。働きながら妊娠・出産・育児をするための権利は法律で守られているにもかかわらず、「マタニティ・ハラシメント」は後を絶たない状況です。

Let's TRY!
レッツトライ!



仕事と子育ての両立は社会全体の課題です。職場は個々の状況や能力に応じた働き方に配慮し、誰もが働きやすい環境を作ることが必要です。家族では、互いに支え合って家事や育児を行うことが大切です。大切なのはチームワークです。



あたたかな心にあふれたまちにするために

みんなでトライ

一人一人が身近な人権問題に向き合い、できることからトライしてみる。

そんなあたたかな心の輪が、人権問題解決への大きな力になる。

ONE for ALL! ALL for ONE!

それぞれのやさしさで、人権を尊重し合うまちづくりを。

同和問題

心ない差別に レッドカード を出す。

特定の個人等を誹謗中傷する差別落書きや差別投書が発生しています。差別落書き・差別投書は、捨てたり消したりしても、その言葉や内容がいつまでも心に残り、人を深く傷つけるとともに、差別や偏見を助長・拡大させるおそれがあり、決して許されるものではありません。

Let's TRY!
レッツトライ!



もし差別落書きや差別投書を見つけた場合は、北九州市同和対策課(TEL.093-582-2440)にご連絡ください。「差別は許さない」という姿勢で、一人一人の人権が尊重されるまちをつくりましょう。



7月は、福岡県同和問題啓発強調月間です。

LGBT

多様な性を認める フェアな社会へ。

近年、性的マイノリティの方の多くが生きづらさを感じている実態が明らかになっています。LGBTの方たちに対しては根強い偏見や差別があり、苦しんでいる人たちがいます。偏見や差別をなくし、正しい知識をもつことが必要です。

Let's TRY!
レッツトライ!



全国の自治体や企業において、LGBTの方たちを支援する取組みが活発になっています。性の多様性を尊重する心を育み、誰もが自分らしく生きられる社会を作りましょう。

